

宍道湖刺網漁業実態調査

(宍道湖・中海水産振興事業)

藤川裕司

1. 研究目的

宍道湖における刺網許可数は651を数え、重要な漁業種と考えられるが、その漁獲統計は不明である。これは、宍道湖漁協では漁獲物を漁協を通じて販売する仕組みが確立しておらず、各経営体が個々に業者へ出荷するためである。

そこで刺網漁獲実態を把握するため、平成12年度より毎年標本船野帳調査および出漁日数に関するアンケート調査を継続実施しており、今年度は以下の知見を得たので報告する。

2. 研究方法

刺網許可保有651経営体より抽出した20経営体へ図1に示した標本船野帳を配布し、操業網種、漁獲量、漁獲金額等の記帳を依頼した。これら20経営体の刺網種別許可数を表1に示した。平成18年4月に図2に示したアンケートを、刺網操業許可保有651経営体のうち標本船野帳記入20経営体と休業者21経営体を除く610経営体へ送付し、平成17年4月～18年3月の月別出漁日数の記入を依頼した。

宍道湖における刺網総漁獲量は、アンケート回収経営体による月別操業日数と標本船野帳記入20経営体による操業日数の比を、標本船野帳記入20経営体の漁獲量に乗じて推定した。

使用した漁具の長さと言った日数

平成 年 月 日

_____ 刺網(長さ m、 晩)

_____ 刺網(長さ m、 晩)

漁業種類(をする)
 わかさぎ刺網 しらうお刺網 すずき・このしろ刺網
 ぼら刺網 こい・ふな刺網 雑魚刺網

漁獲物の種類、量及び価格(銘柄があれば銘柄別に記入する)

魚 種	漁獲量(kg)	価 格 (合 計)

スズキ延縄(釣針の数 ケ)

操業位置(地図に印を付ける)

図1 標本船野帳
(平成15年12月以降の様式)

表1 六道湖漁協刺網野帳記入20 経営体の網種別許可数

ワカサギ 刺網	シラウオ 刺網	スズキ・コノシロ 刺網	ボラ 刺網	コイ・フナ 刺網	雑魚 刺網
15	18	18	0	17	8

下記の各刺網について、あなたが出漁された日数について、おおよそで結構
ですので、御記入下さい。

- ・出漁日数0の場合は何も記入しないで下さい。
- ・すべての刺網について全く出漁されなかった場合も、この用紙は返送して下さい。

	わかさぎ 刺網	しらうお 刺網	すずき このしろ 刺網	ぼら 刺網	こい ふな 刺網	雑魚 刺網
平成17年4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						
平成18年1月						
2月						
3月						

(住所)

(氏名)

図2 アンケートの様式

3. 研究結果と考察

標本船野帳記入20経営体による、平成17年4月から18年3月の刺網月別出漁日数を表2に示した。また、その魚種別漁獲量を表3に示した。

アンケートが回収された経営体のうち実際に刺網に着業した経営体を表4に示した。アンケートを送付した610経営体のうち、実際に回収されたのは320経営体であった。この320経営体のうち、実際に刺網に着業したのは129経営体であった(表4)。アンケートが回収された320経営体の平成17年4月から18年3月の月別出漁日数を表5に示した。出漁日数はコイ、フナ刺網がもっとも多く、次いでシラウオ刺網、スズキ・コノシロ刺網、ワカサギ刺網、雑魚刺網の順であった。

表2 宍道湖漁協標本船野帳記入20経営体による平成17年4月から18年3月の刺網月別出漁日数

	ワカサギ刺網	シラウオ刺網	スズキ・コノシロ刺網	コイ・フナ刺網	雑魚刺網
平成17年4月	2	166	8	5	0
5月	0	34	17	0	0
6月	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0
8月	0	0	1	1	0
9月	0	0	0	2	0
10月	0	0	3	3	2
11月	3	1	21	61	5
12月	6	11	1	59	8
平成18年1月	32	124	0	46	0
2月	24	198	0	36	0
3月	0	195	1	12	0
計	67	729	52	225	15

表3 宍道湖漁協標本船野帳記入20経営体による平成17年4月から18年3月の刺網月別漁獲量 (kg)

	ワカサギ刺網		スズキ・コノシロ刺網		コイ・フナ刺網		雑魚刺網
	ワカサギ	シラウオ	スズキ*	コノシロ	コイ	フナ	マハゼ
平成17年4月	2	1,942	69	0	8	53	0
5月	0	184	357	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	2	0
9月	0	0	0	0	0	2	0
10月	0	0	29	0	0	2	0
11月	0.1	0	151	0	31	732	23
12月	1	10	3	0	19	2,073	16
平成18年1月	87	528	0	0	0	1,126	0
2月	118	1,431	0	0	0	621	0
3月	0	1,396	10	0	8	128	0
計	207	5,491	619	0	66	4,738	39

* 中ハン、セイゴ含む

表4 平成17年4月から18年3月におけるアンケートが回収された経営体のうちで実際に刺網に着業した経営体

		松江	宍道	斐川	平田	玉湯	出雲	鹿島	不明	合計
回収数		99	37	64	63	17	3	0	37	320
着 業 者 数	ワカサギ刺網	8	3	9	5	2	0	0	5	32
	シラウオ刺網	22	10	6	5	4	0	0	6	53
	スズキ・コノシロ刺網	11	3	2	3	1	0	0	1	21
	ボラ刺網	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	コイ・フナ刺網	24	10	21	19	2	0	0	12	88
	雑魚刺網	4	1	2	0	2	0	0	0	9
	いずれかの刺網 に着業した経営 体	41	19	24	21	7	0	0	17	129

表5 宍道湖漁協アンケート回収320経営体の平成17年4月から18年3月の刺網月別出漁日数

	ワカサギ刺網	シラウオ刺網	スズキ・コノシロ刺網	ボラ刺網	コイ・フナ刺網	雑魚刺網
平成17年4月	0	312	16		20	5
5月	0	50	56		6	5
6月	0	0	29		3	5
7月	0	0	17		0	0
8月	0	0	18		0	2
9月	0	0	33		0	3
10月	0	0	55		11	11
11月	7	3	24		121	33
12月	28	34	0		426	15
平成18年1月	49	211	0		384	1
2月	67	238	0		303	0
3月	6	235	3		139	0
計	157	1,083	251	0	1,413	80

表6 宍道湖漁協アンケート回収320経営体の平成17年4月から18年3月の刺網月別推定漁獲量 (kg)

	ワカサギ刺網	シラウオ刺網	スズキ・コノシロ刺網		コイ・フナ刺網	
	ワカサギ	シラウオ	スズキ	コノシロ	コイ	フナ
平成17年4月	0	3,650	139	0	32	212
5月	0	271	1,177	0	2	126
6月	0	0	348	0	1	63
7月	0	0	204	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	396	0	0	0
10月	0	0	523	0	3	8
11月	0.3	0	173	0	61	1,452
12月	6	32	0	0	137	14,968
平成18年1月	133	898	0	0	0	9,396
2月	328	1,720	0	0	0	5,228
3月	3	1,682	30	0	93	1,477
計	470	8,253	2,989	0	329	32,931

*ワカサギの3月の1人1日当たり漁獲量を0.5kgとした。
 *スズキの6,7,9月の1人1日当たり漁獲量は12kgとした。
 *コイの5,6,10月の1人1日当たり漁獲量は0.3kgとした。
 *フナの5,6,7月の1人1日当たり漁獲量は21kgとした。

アンケート回収 320 経営体による出漁日数(表5)と野帳記入 20 経営体による出漁日数(表2)の比を、野帳記入 20 経営体による魚種別漁獲量(表3)に乗じて、アンケート回収 320 経営体による魚種別漁獲量を推定した(表6)。コノシロは、聞き取りより刺網でコノシロを漁獲している経営体はないと考えられたので0とした(表6)。次いで、アンケート回収 320 経営体による魚種別推定漁獲量(表6)に野帳記入 20 経営体の魚種別漁獲量(表3)を加えた(表7)。宍道湖における刺網魚種別漁獲量は、フナがもっとも多く、次いでシラウオ、スズキであった(表7)。フナは平成 13 年度は 107 トン漁獲されたが、平成 14 年度以降は、毎年 50 トン以下と低迷している。シラウオは、平成 15、16 年度はそれぞれ 44 トン、43 トンと豊漁であったが、平成 17 年度は 14 トンと不漁であった。

宍道湖定置網による平成 17 年 4 月から 18 年 3 月の魚種別漁獲量を表 8 に示した。刺網魚種別漁獲量(表 7)と定置網魚種別漁獲量(表 8)を比較したところ、定置網に比較して刺網がフナでは 13 倍、シラウオ

表7 アンケート回収320刺網経営体と野帳記帳20刺網経営体による平成17年4月から18年3月の刺網月別漁獲量 (kg)

	ワカサギ 刺網		シラウオ刺網		スズキ・コノシロ刺網		コイ・フナ刺網	
	ワカサギ	シラウオ	スズキ	コノシロ	コイ	フナ		
平成17年4月	2	5,592	208	0	40	265		
5月	0	455	1,535	0	2	126		
6月	0	0	348	0	1	63		
7月	0	0	204	0	0	0		
8月	0	0	0	0	0	2		
9月	0	0	396	0	0	2		
10月	0	0	551	0	3	10		
11月	0	0	324	0	92	2,184		
12月	7	42	3	0	156	17,042		
平成18年1月	219	1,426	0	0	0	10,522		
2月	446	3,151	0	0	0	5,850		
3月	3	3,078	40	0	101	1,604		
計	677	13,745	3,609	0	395	37,669		

表8 宍道湖定置網による平成17年4月から18年3月の月別漁獲量 (kg)

	ワカサギ	シラウオ	スズキ	コイ	フナ	マハゼ
平成16年4月	-	-	-	-	-	-
5月	-	-	-	-	-	-
6月	-	-	-	-	-	-
7月	-	-	-	-	-	-
8月	-	-	-	-	-	-
9月	-	-	0	0	0	0
10月	1	-	892	0	8	106
11月	0	15	1,828	3	43	87
12月	15	138	1,849	18	993	1,048
平成17年1月	34	120	0	0	1,046	134
2月	24	263	0	5	337	5
3月	0	198	390	0	434	1
計	73	734	4,960	26	2,862	1,380

では19倍漁獲していることが認められた。なお、アンケート未回収290経営体の漁獲量を考慮すると、この比はさらに大きくなると考えられる。平成12～16年度にも同様な現象が認められており、刺網は宍道湖において魚類資源を対象とする、最も重要な漁業種であることが再度確認された。

アンケート回収320刺網経営体と野帳記入20刺網経営体および定置網による平成17年4月～18年3月の魚種別推定漁獲量を表9に示した。平成17年度は、漁獲量はフナが41トンともっとも多く、次いでシラウオの14トンであった。アンケート未回収290経営体の1経営体当たり出漁日数は、アンケート回収320経営体と同じであると仮定し、アンケート送付610刺網経営体と野帳記入20刺網経営体および定置網による平成17年4月～18年3月の魚種別推定漁獲量を表10に示した。現実的には、1経営体当たり出漁日数は、アンケート記入経営体よりアンケート未回収経営体の方が低い可能性が高いため、宍道湖におけるワカサギ、シラウオ、スズキ、コイ、フナの刺網と定置網による漁獲量は65～106トンの範囲内と推定された。

表9 アンケート回収320刺網経営体と野帳記帳20刺網経営体および定置網による平成17年4月～18年3月の魚種別推定漁獲量

魚種名	ワカサギ	シラウオ	スズキ	コイ	フナ	計
漁獲量(kg)	750	14,479	8,569	421	40,531	64,750

表10 アンケート送付610刺網経営体と野帳記帳20刺網経営体および定置網による平成17年4月～18年3月の魚種別推定漁獲量

魚種名	ワカサギ	シラウオ	スズキ	コイ	フナ	計
漁獲量(kg)	1,176	21,958	11,278	720	70,374	105,506